



前・長生村長

石井としお通信

ホームページは「石井としお」で検索

2015年10月 第106号

発行・石井としお後援会

長生村七井土 1387-2

電話 090-7731-8476

村長予定候補に石井としお氏推薦

今年の夏は気象観測はじまって以来の記録的な高温でした。村の基幹産業でありますお米の収穫時期は長雨となり農家の皆さまは大変苦労しました。農協の仮渡し金価格は昨年比「一俵・1500円高い」ものの、引き続き安い買取り価格です。また、一松地区では念願の避難タワー、築山工事が完成し、今後は避難訓練、避難道路の早期建設が求められます。今回の通信は来年予定される村長予定候補に石井としお前村長を後援会が推薦決定したことを含めた報告となります。



石井としお後援会総会

第14回石井としお後援会の総会が9月19日に開催され、来賓に元国会議員の上野建一さん、村の協力議員をお招きし、石井としお氏と後援会の活動報告を受け、活発な質疑を深めました。

小宮山共同代表・挨拶

石井としお後援会は、前村長の石井さんと一緒に会員相互の親睦や研修を続け活動内容を石井としお通信で全村民にお知らせしてきました。村は村民と石井さんの努力で合併し

なかったおかげで預金を増やしその財源で小高村長は身近な事業をおこなうことができます。本当に合併しないでよかったと思っています。また、小高村政を検証しますと幸福の科学への課税撤回や、八積技術専門学校跡地への総合病院誘致の断念、職員の交通事故への拙速な対応などがあります。今総会では来年予定される村長選挙の予定候補を決めていただきたいと思います。

上野建一元国会議員・挨拶

私は石井としお前村長とは若いときからお付き合いがあります。長生村出身の狩野政一元県会議員と一緒に活動しました。石井さんは議員2年で村長選挙に出て当選されました。合併問題の時などは、いち早く「合併すべきではない」と先見性をもっていました。今回、現職を破ることは厳しいと思いますが、持ち前の行動力で奮闘してほしいと思います。

ましこ勇男村会議員・挨拶

本日、同席している石川、立川議員を代表して一言、お祝い申し上げます。石井さんは現役村長を退き3年が過ぎています。県内、全国を回って勉強を続けています。今総会にお越しいただいた皆さんと力を合わせ、来年の村長選挙は一致団結し、良い結果が出るように頑張りましょう。

来賓各位より「メッセージ」

○鈴木博議員…本日は所用で出席できません。

石井としお後援会総会のご盛会をお祈りします。
○山口裕之議員…永年の間、長生村の議員と村長の仕事を通じて本村の発展にご尽力されたことに深く敬意を表します。本日、ご案内をいただきましたがスケジュールの調整ができないので出席できません。総会の成功をお祈りします。

「村に風穴を開けた石井さん」

・事務局…来年の6月に予定される長生村村長選挙の予定候補者として石井としお前村長を推薦することを今総会に提案します。協議をお願いします。

A…提案に賛成です。今、長生村が残っているのは石井さんのおかげです。重圧の中、一人で頑張ってもらった。私達も一緒に頑張りました。今後、石井さんにはさらに活躍してほしい。もっと豊かで希望の持てる村を作ってほしい。

B…11年前の村長選挙に、クリーンな石井さんが出馬、村に風穴を開けました。石井さんは並外れた行動力です。成功よりも失敗に学び一回り大きくなったようです。来年の戦いは、捲土重来です。今まで以上の応援をしましょう。

「合併を阻止した石井さん」

C…石井さん3年間、長かったかと思えます。村民の皆さんの意見を尊重し村の協力議員との関係もさらに深めて頑張ってもらいたい。

D…私からは合併問題について申し上げます。昭和28年に村は高根、一松、八積の3村が合併しました。平成の大合併の時に石井さんは合併協議会の中で大変苦労しました。茂原市は800億円の借金で苦しんでいた。村のアンケートで65%が合併反対でした。そして石井さんは合併協議会を離脱し合併を阻止したのです。その後、二期目の村長選挙でも石井さんが当選。再度、石井さんを村長候補として推薦します。

※この後、満場一致で石井としお後援会が石井としお氏の推薦を決定しました。

石井としおさんの挨拶

来年の6月に予定される村長選挙の予定候補者として、第14回の石井としお後援会総会で推薦決定を頂きありがとうございました。思えば合併騒動のとき、告示一週間前に立候補表明をさせていただき当選しました。村長2期8年間、県で一つのながいき村を皆さんと一緒に力を合わせて残しました。長生村も2040年には人口が45%減少するという予測がでています。村は東京まで通勤でき鉄道があり、国道があり、海があり、自然が残されています。住民サービスを高め魅力ある村を作れば人々が定住し、村が消滅することはありません。私は引き続き、県でただひとつの合併しない長生村を「元気で暮らせる日本一の村」にしたいと思っています。皆様からのご要望やご意見をお伺いし、後日の記者会見で出馬表明をさせていただきます。

石井としおさんの報告

石井としおさんはこの3年間、村政改革に向けて各種団体や全国の自治体を訪ね歩いてきました。その報告を今回も掲載します。

① 9月議会一般質問を傍聴

9月17日(火)、村の議会一般質問を議場で傍聴しました。一般質問は「関克也、鈴木征男、山口裕之、井下田政美」議員でした。注目したのは私の公約でもありました「村のボランティアさんにポイントでお礼する」質問でした。質疑の一部をお伝えします。

5000円を限度にお礼

▼井下田議員…昨年の議会でも質問しましたが、ボランティアの方にポイント制でお返しする取り組みが、どこまで検討されたのか伺います。

▼木島福祉課長…東京都稲城市を参考に視察してきました。稲城市では福祉関係の施設22団体にボランティアをされた方を、1000点1000円と

して上限 5000 点 5000 円まで現金で交付しています。実績交付金は 301 人で 118 万円でした。本村では 65 才以上を対象とし村内の福祉施設にボランティアをした場合、上限 5000 円を現金でお礼を検討中です。また 65 才以下の方へのボランティアにも対象とする考えです。

※ポイント制度でお礼することは、前回の私の公約でもありました。一宮町ではすでに実施済みです。ボランティアで汗をかく方々のお心に報いる制度ですから一日も早い実施を願っています。

②村民の雇用優先を要請



8 月、ナフコ茂原・長生店がオープンしました。開店に向け地元自治会、地元議員、近隣住民との協議で、日照、排水、子ども達の安全、村民雇用などについて協議を続けた中で一定の要望を受け入れて頂きました。

9 月 6 日、店長に村民雇用の数をお聞きしますと「33人中、9 名が村民雇用」とのことです。続いての村民雇用優先をお願いしました。

②平和を願い式典に参加



8 月 5 日～7 日にかけて広島平和記念式典に行ってきました。戦後 70 年の節目として総勢 5 万 5000 人の参

列者でした。宿泊所で働く女性に聞きますと「原爆が投下されたことは忘れない」。近くのお好み焼き店では「学校で原爆の恐ろしさや、平和について教えてもらった」とのことでした。6 日には、友人と二人で平和記念式典に参加しましたが沢山の方々に会場席には入れませんでした。隣にいた老人に話を聞きますと「私の友人が広島に親戚を訪ねたが被爆で亡くなった」とのことでした。

女子高校生に聞いてみますと「広島の実実を世界の人々に伝えたい」「私たちに罪はないが広げる責任がある」「広島に原爆が落とされたことを知らない人がいる。まずは日本の中に風化させないこと」とのことでした。

※広島では学校で原爆の恐ろしさ、平和教育が徹底されていました。原爆は二度と使ってはいけません。と強く想い帰ってきました。

④安保関連法案の廃案を



7 月には国民の 65% が反対している安全保障関連法案(戦争法案)を阻止する為、衆議院議員会館

前に座り込みに行ってきました。子どもや孫を戦場に送ってはいけない、との想いでした。日本全国から働く人、子どもをもつお母さん、学生さんなど、沢山の方々が参加していました。政府与党は国民の圧倒的反対がありながら 9 月 19 日の未明参議院本会議で強行採決をしました。憲法違反であるかどうかの議論も含めてもっと長い時間をかけて丁寧に国民に説明し、国民全体で議論すべきでした。国民の意見に耳を貸さない政権は国民の代表とはいえません。



⑤小自治体の経営を学ぶ

—島根県海士町を視察する—

5 月、島根県海士町に行ってきました。全国的に地方が疲弊し人口が激減する中で、若者が

定着し人口が増えている島でもあります。海士町は島根県の北 60 キロに浮かぶ人口 2400 人、面積 33 平方キロ、豊富な天然資源に囲まれた島でもありました。財政力指数 0.09、過疎、辺鄙(へんぴ)債を使い町の予算は一般会計の平均が 60 億円。長生村の人口は 1 万 5000 人ですが、ほぼ同額の予算規模でした。合併騒動では合併を選択せず単独を決断。積立金は 3 億円。I ターンの続出で若者を中心に平成 25 年度末現在 294 世帯 437 人の人々が定住していました。

子育て支援・教育に財源

山内町長は厳しい財政状況に対し、自ら町長給料を大幅にカットすると、議会と職員もカットを申し出、町民も補助金を返上し財源を作り、子育て支援(4 人目は 100 万円の祝い金)を強化し、教育にお金を充てたのです。島の高校は生徒数が減り廃校寸前、高校はまちづくりや商品開発などを目指す「地域創造コース」と少人数指導で難関大学にも進学する「特別進学コース」を開始し、公営塾「隠岐学習センター」と連携し今では国立大学に 3 割が合格しています。

島の産業、隠岐牛は現在、全国一の高値で取引されています。牛は山に放牧し高低差で鍛えた足腰と海からのミネラルを含んだ牧草で育つ為、肉質が最高となります。この島は年配者の働く姿よりも若者が働く姿を多く見ました。※全国で進む人口減少と地方消滅の対策を先取りした海士町でした。

☆☆☆ ⑥村の魅力・キラリを訪問 ☆☆☆ C-1 入賞の湖月さんに聞く ☆☆☆



七井土の湖月さんは、昨年、村で開かれた C-1 グランプリで優勝、今年は 3 位入賞でした。

Q…湖月の

歴史をお聞きます。

A…47 年前、駐車場が池だったとき、父が茂原からリヤカーを引き、屋台を始めました。

Q…タンタン麺の由来を教えてください。

A…タンタン麺は両親が発案しました。当初、辛い食べ物を食べる習慣がなかったため、その辛さが魅力になったようです。お客様の中には「最近、辛さがなくなったね」と言う方もいますが、今では東京から食べに来る人もいます。大事にしていることはお客様に喜ばれるお店にしたい。

Q…食材の調達と今後の抱負について

A…魚は東京の築地、麺は一宮、野菜は村の直売所から主に購入しています。今後はトイレなどをバリアフリー化し、お年寄りにも優しいお店にしたいと思います。

※長生村の名物、湖月のタンタン麺、これからも愛されるお店でいてほしいと思います。

編集後記



▼マイナンバー制度が導入されます。全ての国民に 12 桁の番号をつけ、企業や官公庁にも 13 桁の法人番号が割り当てられます。利点も言われますが、個人情報国に管理され、サイバー攻撃で情報が漏れる心配があります。国民のプライバシーを徹底して管理するもので賛成できない面もあります。

▼中学校の屋根が台風で飛んだことで小高村長は受注業者に訴訟を起こしていましたが裁判所から「施工業者に瑕疵(かし)は認められないが村側の主張も考慮する」という調停案が出され、村も調停案を受け入れることになりました。当時の村長として私も調停案が妥当かと思えます。

▼9 月の村議会で「安保関連法案」に反対する意見書提出を求める請願書が賛成 7 名、反対 8 名で否決でした。今回の「安保関連法案」に反対する請願書に賛成の意思表示をされた議員各位の意見に私も賛成です。